

# 未来の語り部授業DIARY

未来の語り部授業は、平泉寺小学校の先生方をはじめ、さまざまな人たちに見守られ、応援やアドバイスを受けながら行われました。本番までの軌跡を振り返ります。

<p>6月 平泉寺 での校 外学習</p>	<p>まずは「白山平泉寺」がどんなところかを知るため、勝山市史蹟・文化課学芸員の阿部さんの案内のもと、白山平泉寺旧境内を訪問。平泉寺の歴史を学びました。</p>
<p>7月 22日 第1回 発表会</p>	<p>児童たちが学習してきた平泉寺の見どころや歴史をクラスみんなの前で発表しました。見学に訪れた勝山市教育委員会の方々から良かった点や工夫した方がいい点などのアドバイスとともに、「1回目にしては上手。聞く立場になって磨きをかければもっと良くなる」と激励の言葉をいただきました。最後は、池ヶ原湿原の葎(よし)で作ったストローを来てくださった皆さんにプレゼントしました。</p>
<p>9月 23日 第2回 発表会</p>	<p>勝山市商工観光・ふるさと創生課の南部さんを講師に招き、「国史跡 白山平泉寺のココがすごい!」という講座を実施。白山平泉寺および勝山市への理解を深めました。その後、第2回目となる発表会を実施。1回目の反省点や改善点を踏まえ、ガイドにより磨きをかけました。</p>
<p>10月 23日 リハー サル</p>	<p>本番に向けたリハーサルを行いました。3・4年生を一乗小児童に見立て、実際の案内ルートに沿ってガイドを実施。当日は北海道から来た観光客の方が飛び入りで参加し、児童たちと一緒に平泉寺を回り、案内に耳を傾けてくださいました。</p>
<p>11月 11日 学習 発表会 11月 12日 苔リウム づくり</p>	<p>杉の子学習発表会で、これまでの活動を報告。翌週に迫ったガイド本番に向け、平泉寺の魅力発信活動への意欲を語りました。翌日はコケリウムづくりに挑戦!工夫を凝らした作品が完成しました。</p>
<p>11月 18日 交流会 実施</p>	<p>国史跡 白山平泉寺旧境内にて、「日本遺産、未来の語り部交流会」実施  白山平泉寺のことを「地域の宝」年表コンテストに作品としてまとめて応募し、見事「知事賞」を受賞しました。</p>



福井・勝山 石がたり  
中世・近世のまちづくり、そして現代

かつやまだより

## 2020年11月18日 「日本遺産 未来の語り部 交流会」を実施しました

平泉寺小学校5・6年生14名が一乗小学校の児童9名を迎え、国史跡 白山平泉寺旧境内を案内しました。平泉寺小の児童たちは、のぼり旗を掲げ、お揃いの法被姿でお出迎え。事前に学習した平泉寺の見どころをめぐり、クイズを交えながら楽しくガイドしました。



# 日本遺産認定をきっかけに、

## 「未来の語り部」授業をスタート

平泉寺小学校では、地元歴史や文化を未来に語り継ぎ、広く発信する「未来の語り部」を育成する授業に取り組

ど、石でつながる文化財が日本遺産に認定。これを契機に、「日本遺産、未来の語り部」学習がスタートしました。



福井市の一乗小学校との交流も、日本遺産認定を機に始まりました。2019年11月には、平泉寺小の4・5・6年生が一乗小児童のガイドのもと、一乗谷朝倉氏遺跡を見学。一乗小学校では児童たちが観光客をガイドする活動を10年以上続けており、資料を見ずに堂々と説明する姿や、ガイドをしながら足元や頭上を気遣うおもてなしの心に「同感銘」を受けました。

## 「とても素晴らしいガイド」と高評価

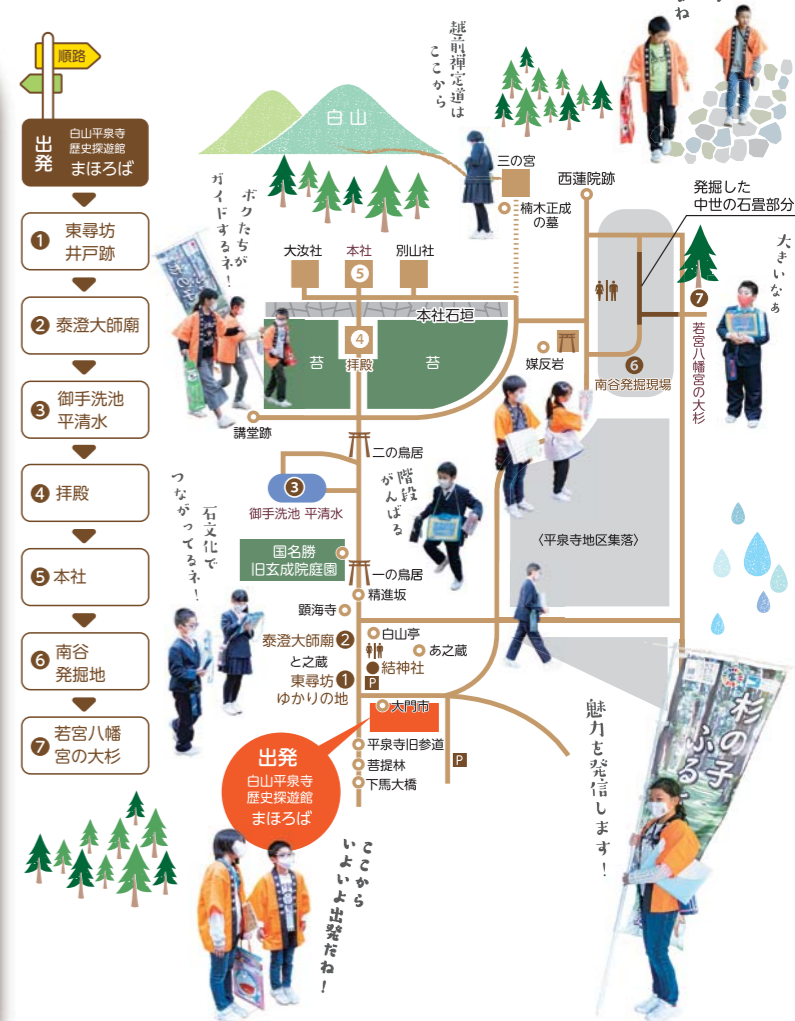
そして臨んだ本番当日。素晴らしい秋晴れの中、「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」から「日本遺産、未来の語り部交流授業」はスタートしました。

最初に、一乗小学校へのプレゼントとして、平泉寺小児童手作りの「コケリウム」を進呈。一乗小学校からも一乗谷朝倉氏遺跡について記した冊子をいただきました。

開会にあたり、平泉寺小の久保校長が、「去年、一乗小の皆さんに素晴らしいガイドをしていただきました。今回はそのお礼に私たちが皆さんを案内します。よろしくお願います」と挨拶。全員で記念写真を撮り、いよいよガイド開始です。



案内ポイントは、①東尋坊井戸跡・泰澄大師廟、③御手洗池、④拝殿、⑤本社、⑥中世の石畳、⑦大杉の7カ所。ガイドを担当するグループは、これまでの学習の成果を発揮し、フリップを使い、クイズを交えながら平泉寺の歴史や見どころを元気よく紹介しま



### 石・苔・恐竜で勝山をPR!

#### コケリウムづくり

11月12日、一乗小学校の児童たちへのプレゼントとして、コケリウムを制作しました。コケリウムとはガラス容器の中で育てる苔で、自然をそのまま切り取ったような小さな世界を作り出せるのが特徴です。今回のコケリウムづくりでは、児童たちが自宅の庭や学校の周辺などで集めた苔と石を使い、勝山市を象徴するミニ恐竜をプラス。平泉寺小オリジナルのコケリウムを製作しました。石を山に見立て恐竜をダイナミックに飾ったり、白い石で石畳を表現したりと、児童たちはそれぞれの発想とセンスで個性豊かなコケリウムが完成! できあがったコケリウムは一乗小学校にプレゼントしたほか、「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」にも展示しています。



した。一乗小の児童たちは説明内容に興味津々。熱心に耳を傾け、質問も多数飛び交いました。

約1時間かけて平泉寺旧境内を周り、平泉寺小初めてのガイドは無事終了。ガイドを終えた児童からは「答えられなかった質問もあったけど、しっかり案内できた。わからないことは調べて、今度来てくれたときには答えられるようにしたい」と次回に向けた意欲的な声がかれました。

一方の一乗小学校からは「初めて聞くことばばかりで驚いた。質問の答えがわからないときも、想像を交えて自分の意見

### 「日本遺産」とは?

地域の文化財を地域の歴史や伝統を語る群としてつなぎ、そのストーリーを国内外に発信することで、観光誘客の促進や地域の活性化につなげようとするものです。

福井県、福井市、勝山市は、「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」として、中世期越前の戦国城下町や宗教都市における石づくり文化をテーマに申請。県内で4番目に日本遺産の認定を受けました。

